

2022年 8月 3日

仙台市長 郡 和子 様

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望（7）

日本共産党仙台市議団
団長 嵯峨サダ子

仙台市内における新型コロナウイルス感染症の感染が急速に拡がり、かつてない感染者数となるなか、市保健所・区役所支所をはじめ、通常業務にあたりながら、市役所をあげて懸命にコロナ対策に尽力されていることに深い感謝と敬意を表します。

第7波の感染がどこまで拡がるのか、先がまったく見通せない中で、先日、宮城県で開催された対策本部会議において、県が「BA.5 対策強化宣言」をおこなって国と調整していくとの方針が示されました。期間や内容等は今後国と協議の上、正式に発令されるとのことですが、機を逸することなく対策をすすめることが強く求められています。県内感染者の多くを占め、病床利用率も高い本市としても、市独自の取り組みを含め、感染拡大から市民の命を守るため、対策を強化することを求め、以下、要望致します。

記

- 1、 宮城県知事が「BA.5 対策強化宣言」を発令することとは別に、医療提供体制や保健所業務の逼迫、救急搬送の困難事案が増えている等、市民とともに現局面の本市の状況について共有し、いっそう感染防止に取り組んでいただくため、市長自ら市民に向けて本市独自のメッセージを発信し、届けること。
- 2、 市役所1階に設置されているPCR検査センターを含め、予約が取りづらい状況が生まれている。夏休みなど長期休暇の移動前検査を推進するためにも、PCR検査等を希望する方が受けられる無料検査実施カ所の拡充を図ること。
- 3、 高齢者等への感染を防御し、医療従事者・介護職員・福祉職員の中での感染拡大を防ぎ業務継続を図るために、医療機関、高齢者施設、障害者施

設等で頻回の PCR 検査を全額公費負担で行うこと。

- 4、 今後、国からの抗原定性検査キットが県を通じて、本市にも配布される予定になっている。必要な数が配分されるよう県に求めるとともに、医療機関での活用以外に、保育所や児童館など、希望されているところに届くように体制をつくること。
- 5、 「強化対策宣言」以降、発熱外来を経ずに自己検査の結果を都道府県等に WEB 等で登録する健康フォローアップセンター等の枠組みが創設される予定になっているが、引き続き発熱外来は重要であり、担っていただく医療機関への十分な財政措置や事務負担の軽減が図られるよう、国や県に求めること。
- 6、 自宅療養者向けの支援物品配送について、親族からの支援や、ネットスーパーの活用等と呼び掛けている。こうした方法で食料品や日用品を確保する場合には、一定の上限額を設けて助成を行うこと。
- 7、 感染者が増加する中で、保健所業務の逼迫は十分理解しつつ、高齢者や基礎疾患のある方等重症者リスクの高い人をふくめ、陽性となった市民の状況把握に細心の注意を払うよう努めること。
- 8、 保健所・支所が必要な役割を果たせるよう、市長も述べられたように、不要不急の事務事業の中止・延期を思い切ってすすめ、全庁からの応援体制の強化をさらに強化すること。
- 9、 新型コロナ感染拡大の波が幾度も訪れるなかで、最前線で業務を担っている保健所・支所の職員の心身の疲労の蓄積が非常に危惧される。コロナ対応で全庁多忙を極める状況ではあるが、職員の心身のケアにいつそう配慮するよう努めること。
- 10、 ワクチン接種について、必要とする市民が円滑に接種できるよう対策を取る。そうした観点からも、仙台駅東口のヨドバシカメラを会場として実施していた大規模接種については、再開するよう県に働きかけること。
- 11、 中・若年層での3回目のワクチン接種率が他の年代よりも低いことが指摘されている。科学的な知見や蓄積されたデータに基づく専門家の意見等、

ワクチン接種の有効性や安全性についての正しい情報がこうした年代の方々に届くよう情報提供をおこなうこと。

- 1 2、 希望する方々が安全・迅速に4回目接種できるよう、必要な情報提供や、ワクチンの調達・配分を進めること。
- 1 3、 今後の感染状況次第で、帰省や観光、イベント開催などの行動規制について、市民や事業者に協力要請を出さざるを得ない局面がくることも想定し、そうした場合には、市民や事業者への丁寧な説明や理解の促進に努めるとともに、要請に伴う補償や支援をセットで講ずること。

以上